

02

SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE製造業
(機械金属系)株式会社
唐津プレジジョン110年の歴史を刻む
世界的工作機械メーカー

“精密な”機械を作り続ける

私たちの生活を支える発電機や自動車といったさまざまな機械。それらの製造過程で活躍するのが“機械を作る機械”である工作機械です。唐津プレジジョンは、110年にわたり、唐津の地で工作機械を作り続けてきました。

「プレジジョン」は英語で“精密な”という意味なんです。以前の社名である唐津鐵工所では、製鉄の会社などと思われることも多かったため、“精密な機械を作る”という使命を表す意味もあり、当社の創業100周年を機に社名変更を行いました」と竹尾社長。

戦前は国内5大メーカーに数えられ、戦艦大和の主砲の製作にも一役買った同社は、現在も主に大型の旋盤や歯車加工機などの工作機械メーカーとして知られています。

「世界と勝負できているのは大型・精密に特化してきたからこそ」と竹尾社長。1台

数千円から時には数億円にもなるフルオーダーの高額製品に求められるのは、何より“品質”です。110年をかけて培ってきた“KARATS”ブランドは、国内外で高く評価されています。

とことん考え抜くものづくり

ほぼ毎朝現場に出掛け、社員への声掛けと敷地内のゴミ拾いをしているという竹尾社長。「製造業は現場にさまざまなヒントが落ちています」との言葉通り、そこから新たな製品につながることも多いそうです。

社員との対話を大切にしており、「最終的に全ては“人”」と竹尾社長は言い切ります。同社は150名に満たない社員数ですが、一騎当千の少数精鋭主義で、生え抜きの職人も多く、定年後の再雇用も盛んです。

竹尾社長の口癖は「とことん考えよう」。細部に及ぶ“こだわりのものづくり”

の精神は、社員の一人一人に浸透しており、性能・精度・使い良さの全ての面において、お客さまの要求に100%応えられるよう、現在ではミクロン単位での精度の追求を行い、産業用ロボット等の精密加工機械の世界でもその力を発揮。創業の理念である“用うるに利有るをつくり売るに利有るものを追わず”の精神で、工作機械の未来を開き続けています。

代表取締役社長
たけお けいすけ
竹尾 啓助大型・超大型軸物を
高精度に加工する
大型旋盤

ここがポイント!



耐用年数は30年以上という“KARATS”の工作機械。「海外での納品を終えた帰り際、1本のネジを締めに戻った職人もいます。おかげで10年間ノートラブルです」と竹尾社長。正確で精密な独自の技術とともに“そこまでやるのか”というほどの職人魂がブランドを支えています。

株式会社唐津プレジジョン

☎ 0955-72-1111

[所] 唐津市ニタ子3-12-41

[創業] 明治42年(1909年)

[従業員] 133名

[HP] <http://www.karats.co.jp/> 唐津プレジジョン 検索